

謹賀新年

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町

議会だより

第206号

令和6年 12月定例会

- ◆ 議案概要・審議結果…P2・3・8・9
- ◆ 決算特別委員会…P4・5
- ◆ 一般質問…P12～19
- ◆ 議会報告会…P21～23



北部第二調整池浚渫工事 増額

増額 2,399万円

増額後契約金額 3億5,267万円

12月定例会は11月26日から12月10日まで15日間開催されました。町長提出の25議案（うち1議案は専決処分の承認を求めるもの）、最終日提出の伊奈町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の合計26議案・陳情1件に関して、審議、採決されました。



浚渫工事中の第二調整池にて、関係者から説明を受ける

問 町の防災機能向上のため進めている第二調整池浚渫工事において、第一調整池に引き続き契約金額の増額が上程されたので、審議しました。

答 契約金額の増額は好ましいものではない。契約前の調査が不十分だったのではないかと少し見込みが甘か

町の防災機能向上のため進めている第二調整池浚渫工事においては、第一調整池に引き続き契約金額の増額が上程されたので、審議しました。

契約前の設計時には、構造上、排水が十分にできないと思われる、土の状態が不明確な状態で契約した。工事着手後、排水したところ、設計時とは違うことが判明し、契約金額の増額となった。

今後、設計時の調査

で精度を上げる努力はするが、どうしてもこのようなことは発生してしまうことは、理解してほしい。

問 第一調整池に加え、6月議会で議決された2件（町道7号線舗装打ち替え工事、と当工事）で契約金額が増額になっている。町としての見解は。

答 事前の調査を更に詳細に行うことで、金額の精度を上げることが可能だが、その分、事前調査の金額が増額になってしまう。またその分が無駄になってしまふ可能性もある。前例や周辺自治体の実施例、関係団体の情報を集め、事前調査の精度を決めている。

今回のことを反省し、地方自治法第2条第14項「最小の経費で最大の成果を出さなければならぬ」の定めを踏まえ、精度を上げるべく努力していく。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

伊奈町議会議長 佐藤 弘一

町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は、伊奈町議会に特段のご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。でございます。

ここ数年、洪水などの自然災害が猛威をふるい、甚大な被害が発生しております。今年こそ、穏やかな一年になりますことを心より念じているところでございます。

議会としましては、町民の暮らしの安全と安心を守るため、さまざまな課題の解決に取り組んでまいります。

結びに、本年が、町民の皆様にとって輝かしい一年となりますよう、ご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

公職選挙法の規定により、選挙区内に年賀状等のあいさつ状を出すことは禁じられています。議員個人としての年賀状は失礼させていただきます。

放課後児童クラブの指定管理者決定

(20ページ上段に関連記事)

放課後児童クラブの指定管理者公募に5団体から応募があり、評価点1位の団体を指定することに於いて質疑しました。

問 株式会社アンフィニが1位となった理由や高評価の要因は。

答 引継ぎ業務の体制、支援員の相談体制や研修体制、事務所が近隣の蓮田市にあること等が高評価につながった。

問 町に寄り添った提案という面ではどうか。
答 一番大きな支援員の処遇において、町と同等の処遇ということにしっかりと対応する提案であった。また、専門の保育コンサルタント、保育サポートチーム、看護師や臨床心理士の巡回等の現場へのサポートがある。発達障害やアレルギーへの研修もある。昼食の提供にも具体的な提案と実現性があった。イベント専門のスタッフも

おり、現場の支援員の負担にならないような形で、プラスのサービスも期待できる。
問 同社運営の他の自治体での評価は。
答 利用者者の満足度調査はおおむね良好、満足という結果である。

予算額（令和7年度から令和9年度の支出予定額）

事項	限度額	支出予定期間	財源内訳	
			国県支出金	町の一般財源
放課後児童クラブ 管理運営業務	6億2,356万円	令和7年度 ～令和9年度	4億1,570万円	2億786万円

3年分で6億2,356万円を支出予定

バラ園入場料改定

町制施行記念公園バラ園の入場料改定について審議しました。

問 値上げの理由は。
答 赤字が大きくなったから。この5年間で公園維持に関する費用が1000万円増加。令和6年では、維持費が総額で約4760万円に対し、入場料収入は約1723万円。差し引き約3036万円の赤字となった。

値上げ幅は、5年前の改定時の行財政改革推進会議の答申を踏ま

えたものだ。
問 費用増の要因は。
答 人件費や資機材費。
問 今回の改定に向け、行財政改革推進会議を開かなかった理由は。

答 前回、諮問から答申まで6か月を要した。早急な対応が必要と考え開催を求めなかった。

問 値上げの影響で入場者が減少する危険性はないか。
答 前回改定時には1・2%増加しており、大きな影響はないと考えている。



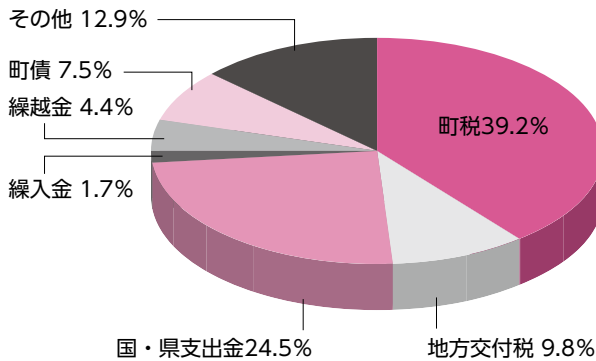
	改定前	改定後
個人	350円	500円
団体	300円	450円
シーズン券	500円	1,000円

無料で入場できる方は、現規定から変更なし

令和5年度決算は、議長、監査委員を除く議員で構成された決算特別委員会（審査日10月29日・30日）で審査し、12月定例会初日の本会議において採決し、全て認定されました。

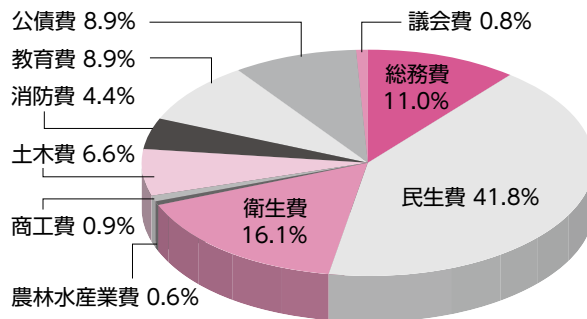
令和5年度の歳入構成比

歳入決算額
153億1,043万円



令和5年度の歳出構成比

歳出決算額
146億6,720万9千円



令和5年度決算審査

町税が収入の約39% 民生費が支出の約42%

歳入

税収の状況

町民税の所得割が増えているが、その要因は。

納税義務者の増、1人あたりの課税標準額の増、給与所得の増によるものである。

町税の法人税割の減額の背景は。

物価高騰等の影響と昨今の社会情勢、経済状況等のマイナスの要因が影響したものと考察している。

歳出

総務費

不用額の状況

令和5年度の款ごとの不用額の多い項目についての説明を。

割合の多い科目から衛生費7・1%、総務費は6・4%、農林水産業費5・0%である。金額の多い科目は、民生費（2億6332

万円）、衛生費（1億8215万円）、総務費（1億952万円）の順である。

交通安全施設管理事業

カーブミラー設置状況は。

設置は5か所で修繕は21か所である。



新設されたカーブミラー

公用車費

公用バス運行業務委託に要した経費約343万円、42件の内容は。

自主防災会の研修、民生委員障害福祉視察、農地利用最適化活動活性化研究会、常任委員会の所管事務調査、民生・児童委員協議会全体研修会等である。

志久駅バリアフリー化事業

進捗状況は。

高架下の道路は測量が終わり、詳細設計に入っている。令和7年度に道路の切り替え工事とエレベーターの設置を予定している。

広報事業

広報いなの配布率は。

世帯数が1万9911世帯に対し、配布件数は1万4300部で74%だ。

民生費

地域福祉活動事業

紙おむつ支給事業は、個人に対しての支給と認識している。物価高騰の影響がある各施設への配給実績は。

紙おむつ支給事業は、社会福祉協議会が行っている。伊奈町に住み、居住実態のある方が対象である。施設に配給した情報は入っていない。

敬老事業

問 敬老会の見直し並びに敬老祝い金の今後の見直しは。

答 高齢者数は増加傾向だ。地域に敬老会が移行するように協力依頼を行っている。区に移行すれば、補助金が増加するが、総体的に変化しないと考えている。

衛生費

ふれあい収集事業

問 実績が58件で2万円、昨年度が52件で2万5千円。人件費を含めたコストは。また、対応は個別対応か。

答 クリーンセンター職員が対応しているもので、人件費を含めている。毎週水曜日、2班4人で実施している。

乳幼児健診

問 3歳児健診で使用されている屈折検査機の使用開始時期と、検査実施により眼科医へ紹介した人数は。

答 平成29年12月の検査開始時点では、機器を借用していた。令和6年2月に機器を購入した。眼科医への紹介は、令和5年10名、うち2月からの紹介は3名となっている。

令和5年度については大学進学が3人と、高校進学が1人の計140万円を貸付けた。

土木費

道路GIS事業

問 道路GISの町道損傷通報アプリを活用してどの程度報告実績があるのか。

答 通報は6件である。

商工費

シテイセール推進事業

問 広くPRするためフィルムコミッション活動を積極的にこなしているが、その実績については事前公表が難しいと聞いている。公表に対しての制約はあるのか。

答 映画等に関しては、かなり制限がかかっている。公開可能かの確認は毎回実施している。事前公表ができるように取組んでいく。

移住定住促進事業

問 出合い創出に特化しているようであるが、

広く移住者を増やす取組は。

答 IOKKA*での活動しか現在には行っていない。将来的には空き家対策等の事業で予算を組み、取り組んでいきたい。

公共下水道事業会計

水洗化率低下の要因

問 水洗化率、公衆衛生の向上を図る必要があるが、令和元年から令和5年にかけて減少している要因は。

答 1千万円以上の工事を行っておらず、地域拡大を図られていない事から新規引き込み件数が伸びなかった。また、町外への転出があった事も要因と考える。



屈折検査機

令和5年度決算認定 議案一覧及び審議結果

議案番号等	議案名	審議結果		
町長提出議案 決算	認定第1号	令和5年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第2号	令和5年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第3号	令和5年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第4号	令和5年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第5号	令和5年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第6号	令和5年度伊奈町水道事業会計決算認定について	全会一致	認定
	認定第7号	令和5年度伊奈町公共下水道事業会計決算認定について	全会一致	認定

委員会での質疑と答弁の一部を要約しました。

総務
建設産業

町長提出議案6件、陳情1件が審議されました。(11月29日開催)

所管事項

一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

新庁舎建設に伴う職員駐車場 旧伊奈病院跡地を賃借予定



職員駐車場予定地の伊奈病院跡地

●職員駐車場

問 役場駐車場と職員駐車場用地借上料の詳細な説明を。

答 新庁舎建設に伴い職員の駐車場を、新たに土地を借りて整備する予算になる。

はなく、今後ずっとか。

問 公用車の駐車場は、工事期間中であるが、職員の駐車場は、新庁舎完成後も引き続き借りる予定だ。

答 現在、月額1500円だが、30000円

に上げる事を考えている。

●屋内運動場の空調

問 歳入で南中学校の武道館に空調整備をしてほしいと寄附があった。寄附に至る経緯を。

答 匿名希望の寄附50万円。町内の7小・

中学校で8施設あるなかで南中学校の武道館は、調査でも優先順位の高い施設である。

問 想定される財政規模はどの程度か。

答 約1500万円。

屋内運動場の空調には文部科学省から2分の1の補助がある。

●企業版ふるさと寄附金

問 地方創生事業に関連した企業版ふるさと寄附金は。

答 寄附いただいた企業は、創業111年の株式会社鹿島印刷所で、金額は33万3333円。

問 企業版ふるさと納税第1号との理解でよいか。

答 そのとおりだ。

●その他の寄附金

問 そのほかの高齢者福祉事業寄附金100万円と健康増進対策等寄附金77万円。寄附者名、使途は。

答 町の高齢者福祉に今成医院から、健康増進対策等として明治安田生命保険相互会社から、寄附された。

●町内循環バス等運行検討事業

問 町としてどういう姿勢で委託をしていくのか。

答 いなまの運行にはいくつかの課題を指摘されている。また、デマンドバス導入の要望もある。今後さらに検討、分析を進めていきたいと考えている。

常任委員会レポート

文教民生

町長提出議案7件が審議されました。(12月2日開催)

所管事項

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

県統一基準に向けた 国保税引上げ



伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)を視察。指定管理者を公募しアクティオ株式会社に継続指定することとなった

●国民健康保険税の引上げ

問 最も大きい引上げの層と額は。

答 所得500万円から700万円の方が最も大きく、年間で約4万円の増額になる。

問 県の基準まで保険税を上げていくということだが、県の基準自体は上がらないのか。
答 過去3年間の医療

費を基に計算するので、県の標準税率の上限も見えてこない状況だ。

問 国保税が上がる原因は、国が国民健康保険会計に出す定率の割合を下けたことが一番大きい。被保険者が減る一方なので、保険税は構造的にどこまでも上がっていく。町ができることはないのか。
答 一般会計からの法

定外の繰入れ等があるが県の方針でそれは解消しなければならぬ。埼玉県だけではなく、全国の市長会、町村会、その代表が国会に陳情を行っている。

●対話型支援機の導入

問 老人福祉費の器具費100万円は。

答 対話型支援機で、音量を大きくせずに、言葉を聞き取りやすくする特許技術を用いたスピーカーだ。台数は5台、主に窓口には置く。

●保育環境改善等事業補助金

問 補助の内容は。

答 保育施設老朽化対策の設備改修1施設と、業務効率化のためのICT化事業2施設への補助である。

●血管年齢測定器

問 フレイル対策等保健事業の機械器具費は。

答 高齢者向けに血管年齢測定器を購入する。

●伊奈町総合振興計画

問 令和16年度の目標人口4万6000人の設定根拠は。

答 目標として、この人口を達成したいというところで計画を上げた。

問 その対策は。

答 町の利便性向上や住環境の整備、安心・安全に過ごせる町を目指すことで対応する。

●HPVワクチン

問 各種予防接種実施事業の医薬材料費とは。

答 HPVワクチンのキャッチアップ接種が今年度末で終了することに伴い、駆け込み接種が多い。希望する人へのHPVワクチン確保のため、医薬材料費を増額補正したものを700回分、約200人分となる。

〈12月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等	議案名等と主な内容	審議結果	
人事	第52号議案 伊奈町教育委員会の委員の任命について ・教育委員会の委員の三國隆夫氏の任期が令和6年12月21日で満了となるため、同氏を再任命することについて同意を求める。	全会一致	同意
	第53号議案 伊奈町公平委員会の委員の選任について ・公平委員会の委員の長島晴夫氏の任期が令和6年12月21日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致	同意
専決	第54号議案 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度伊奈町一般会計補正予算（第6号）） ・歳入歳出各1,994万8千円を追加し、補正後総額161億5,130万円とする。衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が令和6年10月27日に執行されることに伴う経費の編成。	全会一致	承認
補正予算	第55号議案 令和6年度伊奈町一般会計補正予算（第7号） ・歳入歳出各1億1,580万1千円を追加し、補正後総額を162億6,710万1千円とする。歳入では、人事院勧告による会計年度任用職員報酬等の増に伴う補助金の増額、財政調整基金からの繰入。歳出では、給与費及び共済組合負担金等件費並びに特別会計への繰出金の増額。	全会一致	原案可決
	第56号議案 令和6年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各250万円を追加し、補正後総額を各36億2,785万9千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金の増額。	全会一致	原案可決
	第57号議案 令和6年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） ・歳入歳出各55万円を追加し、補正後総額を各1,873万2千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金の増額。	全会一致	原案可決
	第58号議案 令和6年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各300万円を追加し、補正後総額を各33億9,589万4千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第59号議案 令和6年度伊奈町水道事業会計補正予算（第2号） ・水道事業費用は営業費用を176万1千円を増額し、10億8,167万1千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第60号議案 令和6年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・下水道事業費用は、営業費用を89万2千円増額し、8億6,724万9千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第61号議案 議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ・議会の議員の期末手当の支給率を0.1月分引上げる。	賛成多数(注)	原案可決
	第62号議案 町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・町長、副町長及び教育長の期末手当の支給率を0.1月分引上げる。	賛成多数(注)	原案可決
条例	第63号議案 伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・人事院勧告により、町職員の期末手当及び勤勉手当を合わせて、支給率を一般職は0.1月分、再任用職員は0.05月分引上げるとともに、若年層に重点を置きつつ給料表の全部を増額改定するもの。	全会一致	原案可決
	第64号議案 伊奈町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」により令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証未返還の罰則規定が削除となるもの。	全会一致	原案可決
補正予算	第65号議案 令和6年度伊奈町一般会計補正予算（第8号） ・歳入歳出各7,042万8千円を追加し、補正後総額を163億3,752万9千円とする。歳入では、私立保育園等の保育環境改善への支援及び町内循環バス等運行検討事業に伴う補助金の増額、こども医療費の補助対象経費の減額に伴う補助金の減額、寄附金の増額等。歳出では、人件費、新庁舎建設に伴う駐車場の移転整備、町内循環バス運行検討に伴う委託料、子ども医療費、子宮頸がん予防ワクチン接種に係る費用、丸山スポーツ広場用地買収に伴う増額。	賛成多数(注)	原案可決
	第66号議案 令和6年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ・歳入歳出各15万円を追加し、補正後総額を各36億2,800万9千円とする。職員の標準報酬月額の変更による共済組合負担金の増額。	全会一致	原案可決
	第67号議案 令和6年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各110万円を追加し、補正後総額を各33億9,699万4千円とする。職員の時間外勤務手当等の増額。	全会一致	原案可決
	第68号議案 令和6年度伊奈町水道事業会計補正予算（第3号） ・伊奈町浄水場・配水場運転管理業務委託及び伊奈町水道事業徴収事務等業務委託について、令和7～9年度における債務負担行為の追加。	全会一致	原案可決

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	条例	第69号議案 伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・国民健康保険事業の健全な運営を図るため、国民健康保険税の所得割額及び被保険者均等割額を改正する。	賛成多数(注)	原案可決
		第70号議案 伊奈町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・伊奈町政施行記念公園のバラ園使用料について、個人350円を500円に、団体300円を450円に、シーズン券500円を1,000円に改正する。	賛成多数(注)	原案可決
		第71号議案 伊奈町上下水道審議会条例 ・伊奈町上水道審議会条例及び伊奈町下水道事業審議会条例を廃止し、新たに両審議会を統合する伊奈町上下水道審議会条例を制定する。	全会一致	原案可決
	契約	第72号議案 工事請負契約の一部変更について(第2調整池浚渫工事) ・河川土砂工の変更や仮設工及び保安工の変更に伴い、契約金額を3億2,868万円から3億5,266万8,800円に増額変更する。	全会一致	原案可決
		第73号議案 伊奈町総合振興計画を定めることについて ・現行の計画が令和6年度で最終年度を迎えることに伴い、令和7年度からの10年間を計画期間とし、「これからも安心して住み続けられるぬくもりのあるまちづくり」を将来像とした新たな総合振興計画を策定するもの。	全会一致	原案可決
	その他	第74号議案 公の施設の指定管理者の指定について(伊奈町放課後児童クラブ) ・伊奈町放課後児童クラブの指定管理業務について、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの期間、指定管理者を株式会社アンフィニに指定する。	賛成多数(注)	原案可決
		第75号議案 公の施設の指定管理者の指定について(伊奈町ふれあい活動センター) ・伊奈町ふれあい活動センターの指定管理業務について、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの期間、指定管理者をアクティオ株式会社に指定する。	全会一致	原案可決
補正予算	第76号議案 令和6年度伊奈町一般会計補正予算(第9号) ・歳入歳出各801万5千円を追加し、補正後総額を163億4,554万4千円とする。歳入では、財政調整基金からの繰入。歳出では、下谷用水路からの漏水による綾瀬川河川敷復旧工事に伴う増額。	全会一致	原案可決	
議員提出議案	議第2号議案 伊奈町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 ・伊奈町議会における政務活動費について、会派を交付対象としていたが、会派に所属しない議員も交付対象とする。	全会一致	原案可決	
陳情	陳情受付第2号 陳情書(各種「空き家事業」で宅建協会会員へ取り次ぐ際に評価証明等の情報開示について空き家所有者の了解を取り付ける件(ほか4件)) ・市町村からの要請で宅建協会が締結している空き家事業に空き家所有者と会員をつなぐ際、評価証明などの情報開示について行政より了解を取り付けたくうえで会員につなぐこと等。	反対多数(注)	不採択	

(注) 全会一致でないものは下表のとおり。全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します。

賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対

議案名	議員名	富井	仲島	川内	木俣	武藤	高橋	山野	大野	栗原	戸張	藤原	五味	上野	大沢	佐藤	青木	結果
		篤弥	雄大	雅人	美千代	倫雄	まゆみ	智彦	興一	恵子	光枝	義春	雅美	尚徳	淳	弘一	久男	
第61号議案	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
第62号議案	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
第65号議案	令和6年度伊奈町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	—	○	原案可決
第69号議案	伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	●	—	○	原案可決
第70号議案	伊奈町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
第74号議案	公の施設の指定管理者の指定について(伊奈町放課後児童クラブ)	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	—	○	原案可決
陳情受付第2号	陳情書(各種「空き家事業」で宅建協会会員へ取り次ぐ際に評価証明等の情報開示について空き家所有者の了解を取り付ける件(ほか4件))	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	—	●	不採択

(注) 議長「—」は議事進行を行うため、賛否の表明はしません

討論

～12月定例会では、6議案について討論がありました～

第61・62号議案

反対討論

富井 篤弥

議員や町長、副町長、教育長の期末手当の支給率を引き上げることについて、現状として伊奈町特別職報酬等審議会の所掌事項となっておらず、引き上げについては事実上自己評価で行っている状況である。

よって、第三者による評価や審査がなく、期末手当の引き上げが妥当であるという客観的根拠もないことから、二議案に反対する。

第65・74号議案

反対討論

五味 雅美

第65号議案の債務負担行為補正の児童クラブ3年分は関連するの

で一括して反対する。指定管理者制度は、同じ事業者が継続する保証はなく、事業者都合で撤退することもあり、事業の要である支援員を不安定な身分に置く。支援員の人材不

足が課題であるのに、逆行だ。この制度は施設の管理を行なわせるものだが問題も多い。しかも学童保育は単に施設ではなく保護者の子育てを支援する事業であり、制度の逸脱した利用だ。

賛成討論

藤原 義春

債務負担行為の補正は、保護者ニーズに添えるべき新規事業としての放課後児童クラブ管理運営業務について、次年度以降複数年にわたる業務の債務負担行為であり、適正に計上されている。この補正予算に賛成だ。また、町内17の放課後児童クラブで、充実した保育サービスの提供を目的として、指定管理者の選定が行われ、実績のある5団体から応募があり、株式会社アンフイニが選定された。より良い保育サービスの運営が期待できる。

第74号議案

反対討論

富井 篤弥

これまで築き上げてきた信頼と実績に加え、どのような経済・社会情勢下でも安定的に児童クラブを運営できるのは町営最大の強みである。指定管理に移行することは町の子育て施策の魅力を失うことになり、容認できない。

第69号議案

反対討論

富井 篤弥

昨年に続き国保税を引き上げれば、この情勢下で加入者の家計は更に厳しい状況となり、疲労困憊こんぱいしてしまう。特に、中所得者層の加入者には軽減等支援策もなく、引き上げで生活が一層厳しくなるため、許容できない。

反対討論

五味 雅美

県の標準統一化に向けて、国保税を上げるもの。上限の保証はなく際限ない増税に突き進むもの。物価高騰に苦

しむ町民に打撃だ。自治体の自治への侵害でもある。国庫負担割合を減らしてきた原因に目を向けるべきだ。

賛成討論

藤原 義春

国民健康保険は加入者が減少し、厳しい運営となっているが、国民皆保険制度の土台である。埼玉県では、令和9年度に県内市町村の保険税水準の統一を目指しており、県への納付金の不足をなくす。原案に賛成。

第70号議案

反対討論

高橋まゆみ

支出を含めた事業そのものに対する評価が示されておらず、ただ単に「事業の赤字が増えたので値上げをして収支を今よりもましなものにする。」では、施策として極めて不十分で、町民に対しても不誠実なものである。

賛成討論

川内 雅人

今後大きな支出を控える伊奈町としては、赤字の対処を極力急ぐべきである。

また、無料入場対応者は変更なく、町民への配慮はされている。今後、入場料以外の収入増を検討することを要望し、賛成とする。



議案に対する質疑

町長提出議案に対し、議員から質疑がありました。その概要を質問者がまとめ、報告します。

国保税の負担重い

適正か問う



武藤 倫雄 議員

第69号議案 伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 埼玉県内市町村の「保険税水準の統一」の概要と目的はどうか。
答 運営主体を県単位とするものである。財政基盤を強化し、事務の効率化を図りながら加入者に同一負担・同一サービスを提供する。

問 保険税負担を減らすため、仮に一般会計から法定外繰入をした場合、次年度以降の事業への影響はどうか。
答 保険者努力支援分



埼玉県国保マスコット 健康まもるくん

みんなで支えあい、医療費負担のリスクを分散するのが医療保険制度です

としての補助金がカットされる。令和6年度でいうと約1100万円である。不足分を保険税率に転嫁するため急激な増額で加入者負担がより大きくなる。

問 昨年度の条例改正後、この一年間の取組みはどうか。
答 加入者の税負担をできるだけ抑えるため何十通りものシミュレーションを重ねてきた。また、医療費抑制のため予防、早期の発見・治療のための助成事業を行い、併せてジェネリック医薬品の利用促進やセルフケアの周知にも取り組んできた。

第23回 新庁舎建設特別委員会

新庁舎4階に議会フロアを配置する計画

今回の委員会では専門的な意見を聴くために設計施工監理に携わる3人が参考人として出席しました。

町民ワークショップ

テーマ「庁舎と図書館が融合する場はどんな使い方ができるか考えよう」

開催の状況は。

答 14人が参加した。参加者の年代は、10代が1人、20代が1人、30代が3人、40代が2人、50代が7人。

出された意見は。

答 おしゃれな家具、ベビーカーでも入れるスペース、幅広い年代でも入りやすい空間。

「庁舎と図書館が融合する場」については勉強スペース、子どもが遊べるスペース、読み聞かせのコーナーが欲しい等の意見であった。

議会フロアの検討

問 議員席のバリアフリー化にも配慮した座席配置を。

答 要求水準書で指示してあるので、引き続き検討したい。

問 議場の出入り口は2か所しかなく、災害時に心配がある。傍聴席からも避難

できるようにするべきでは。
答 2方向避難ができるようにはなっているが改めて検討する。

問 議場もその他の部屋も狭くなっている。必要な機能や距離感をどう考えているのか。
答 小さくなっているが、昔より議員定数が減っている。総務省基準に基づく計算を参考に面積を試算している。

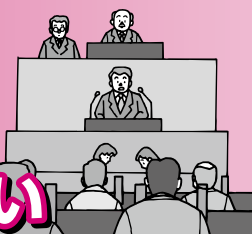
※この他にも多くの意見が出されました。今後、順次論議していくことになります。

今後の主な予定

令和7年3月下旬	基本設計 完了
令和7年4月	実施設計 着手
令和8年1月	実施設計 完了
	新庁舎、別棟 工事着手
令和9年8月31日	新庁舎、別棟 引渡し
令和10年1月	新庁舎、別棟 開庁 既存庁舎解体・外構工事着手

一般質問

そこが
聞きたい



14人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問いただします。12月定例会では、14人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。13ページから19ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、図書館にある会議録および、伊奈町議会ホームページの会議録や録画でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
13	木俣美千代	<ul style="list-style-type: none"> ●こども誰でも通園制度について ●带状疱疹ワクチンの定期接種化について ●動物愛護・動物の命を大切に
13	五味雅美	<ul style="list-style-type: none"> ●公園や街路樹などの樹木を守り増やす取組を ●新型コロナウイルス感染症の後遺症への支援を
14	仲島雄大	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達の健やかな成長のためにできること ●カスタマーハラスメントの取組について
14	大野興一	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問介護の基本報酬引き下げによる町内業者への影響について ●水稻耕作の振興と耕地の大規模化による効率的な農業の推進について ●町でも2025年問題を受けて高齢化が進んでいる。老人が外出して憩えるベンチの増設を
15	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の負担軽減、住民サービス向上のための自治体DX推進 ●町職員の男女の賃金格差の是正に向けて ●令和の米騒動と稲作農家支援
15	藤原義春	<ul style="list-style-type: none"> ●伊奈町健康増進計画「第2次い〜な健康プラン21」の取り組みについて ●伊奈町の認知症対策は大丈夫か
16	青木久男	<ul style="list-style-type: none"> ●町内における主な感染症の罹患状況とその対策を伺う ●不在者投票及び身体が不自由な方の投票について
16	高橋まゆみ	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者福祉施設及び障害者福祉施設の現状に、町が向き合い取り組むべき課題について ●自治基本条例（まちづくり基本条例）について
17	戸張光枝	<ul style="list-style-type: none"> ●子宮頸がん撲滅に向けた仕組みづくり ●高齢者のおひとりさま支援の強化を ●町公式LINEの機能をバージョンアップし住民サービス向上を ●空き家対策と空き家の鳥獣被害対策推進を
17	川内雅人	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の振興と継続について ●公園や空き地、空き家、耕作されていない農地などの雑草対策を ●部活動の地域移行について
18	富井篤弥	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットリテラシー教育の充実を ●町の豊かな自然環境と住環境を守るために ●野焼きによる健康被害を減らすために
18	栗原恵子	<ul style="list-style-type: none"> ●原市沼川の調節池事業について ●伊奈町産後ケア事業について
19	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> ●伊奈町の消防救急の現状。町民の生命を守る取組と支援の状況は ●伊奈町の農業。現状と今後のプランは
19	山野智彦	<ul style="list-style-type: none"> ●耕作放棄地で畜産業向けの飼料生産を行う検討を ●ニューシャトル駅周辺等の宅地開発計画を ●闇バイト型強盗や在宅中の泥棒等への犯罪防止対応について

災害時ペットと共に避難



木俣 美千代 議員



飼い主に大切に飼育されているペット

- 問** ペット専用の避難所はどこに設置されるのか。
- 答** 学校では渡り廊下や駐輪場、屋外階段の下等を想定している。
- 問** エサの準備は。
- 答** 飼い主が5日分のエサと水の備えを。
- 問** ペットとの避難方法の周知は。
- 答** 町ホームページに動物のための防災に掲載。
- 問** **こども誰でも通園制度** 令和8年から始めるが進捗状況は。
- 答** 現時点では試行段階

- 階ということでもあり、制度の本格実施を円滑に迎えられるよう準備したい。
- 問** 制度導入に向けての課題は。
- 答** 安全に保育するために、保育人材の確保が大きな課題だ。
- 問** 保育園以外の場所での受け入れの考えは。
- 答** 幼稚園や子育て支援拠点などの施設と積極的に情報交換と意見交換を行いながら進めていきたい。
- 問** **带状疱疹ワクチン定期接種化** について
- 答** 定期接種化に向けての準備は。
- 問** 国では、時期や対象者について、議論や検討を重ねている状況。国の動向を注視し遅滞なく開始できるようにしていく。



樹木を守り増やす取組みを



五味 雅美 議員



樹冠被覆率（樹木の枝葉部分が土地面積を覆う割合）を30%にすれば暑さ起因死を40%減らせるという論文も

- 問** 気温上昇やヒートアイランド現象に、公園や街路樹などの樹木の効果が大きい。樹木に関する町の計画や目標はどうか。
- 答** 緑の基本計画で公園・都市計画道路の緑化が位置づけられている。
- 問** 倒木による事故も起きており、手間もか

- る。公園はヒートアイランド現象抑制対策として、都市計画道路は大気の浄化、騒音防止、延焼遮断機能として、それぞれ緑化を進め、維持・増加に努める。
- 問** 倒木による事故も起きており、手間もかかるが、「緑あふれるまち」のために、住民の理解や協力を得ながら増やす取組むべきではないか。
- 答** 公園の樹木は植えてから40年以上経過しているものが多く、枝葉が密集して薄暗くなっている公園も多い。通風採光、犯罪防止等から新たな植樹は難しい。専門家の意見を聞き、植栽の配置等を考慮しつつ剪定等して守っていく。
- 問** **新型コロナウイルス後遺症**
- 答** 後遺症は、発症割合が高く、それと分らないことも多く、治療法も確立していないなど支援が必要だ。町内の状況はどうか。
- 問** 医療機関では月に数件、町立小中学校では報告はない。



子ども達の健やかな成長のために



なかじま ゆうた
仲島雄大 議員

問 子どもの権利条約等について保護者や大人達にどの様に啓発して行くのか。

答 広報誌において毎年掲載し周知に努めている。今後は、条約の基本4原則(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)

以外も含め人権に係る研修や町主催イベント等で更に啓発促進する。

問 健やかな子ども達の成長を支えるべき立場として共同親権に対する見解を。

答 未来を切り開く子ども達への支援は、重要と捉えている。共同

親権については、民法改正の内容を注視しつつ、急速に変化する社会や家族情勢に対応できる様に子どもの権利を守り、健やかな成長を促す施策を展開する。

職員に対するカスタマーハラスメント対策について

問 職員のプライバシー保護、安全確保のために名札のフルネーム化廃止することは可能か。

答 対応の際に担当者名を示す大切な面とカスタマーハラスメントに対するリスクと両面を考慮した上で、名札のフルネーム表記のメリット、デメリットを整理し、既にフルネーム表記を廃止している自治体の効果を調査研究する。



子どもの権利条約
子どもがもつ4つ権利の柱

- ①生きる ②育つ ③守られる ④参加する

訪問介護の危機、報酬引き下げで



おおの こういち
大野興一 議員

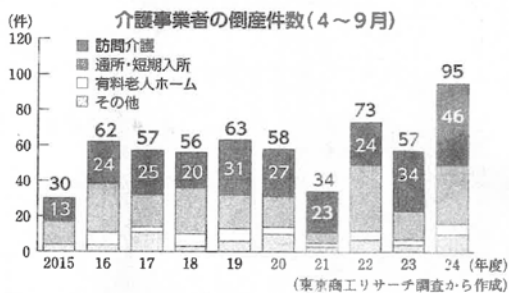
訪問介護の基本報酬の引き下げの影響

問 介護報酬が下がったために経営が苦しくなっている。ガス、水道料金の支援などの助成を町は考えているか。

答 国は、総合経済対策として、物価高騰対

応の臨時交付金の交付について、過日閣議決定した。今後、町全体の施策の中で、実施事業を検討していく。

町内の介護事業所が安定した運営が図られるよう、交付金の活用を積極的に検討する。



介護倒産最多95件
訪問介護基本報酬下げの影響

水稲耕作の振興と耕地の大規模化

問 水田は貯水の役割も果たす。「貯留機能保全区域」の指定を受けてはどうか。

答 貯留機能保全区域の指定は、特定都市河川浸水被害対策法第53条で県知事が指定、指定地域の土地所有者等の同意を得て、当該区域の市町村長の意見を聞く。指定されたのは奈良県の2自治体。今後調査研究する。

高齢化対策にベンチの増設を

問 2025年問題を受けて、町でも高齢化が進んでいる。老人が外出して憩えるベンチの増設を。

答 公園に設置されているベンチは451基、前回より20基増えた。

町職員の男女賃金格差の是正



おおさわ じゅん 議員

問 男女の給与の差異は。

答 男性に対して女性が約85%。係長昇格試験の時期に育児休業等を取得中の女性職員が多く、昇格試験を受験しないことが要因。

問 男女の格差是正を。昇格試験が受験しやすく、育児と仕事が両立できる職場環境づくりを進め、育児に従事した期間が、不利にならない人事を進める。

自治体DXの推進



師走の田園風景

- 問** RPAの導入は。削減されている。
- 答** 76%の業務時間が削減されている。
- 問** 高齢者等が取り残されない対策を。
- 答** スマホ教室やパソコン寺子屋を実施している。
- 稲作農家支援**
- 問** 伊奈町の米の生産量と生産力の推移は。
- 答** 5年前と比較して面積で20haの減少。収穫量で122tの減少。農地の集積、集約を図り米の安定生産を推進したい。
- 問** 伊奈町産米応援プロジェクトや学校給食での町内産米の利用状況は。
- 答** 応援プロジェクトは協賛企業4社、1万240kgを購入していた。学校給食では2万1700kg利用している。



運動による健康づくり
健康運動指導士による運動教室



ふじはら よしなる 議員

問 厚生労働省は筋トレを推奨しているが、町ではどんなことをしているか。

答 健康運動指導士を講師に招き、健康ウォーキング教室や健康長寿教室を開催している。ウォーキング前後のストレッチやスクワットや片足立ち、かかと上げなどの荷重運動を実施している。

健康ウォーキング教室
問 実施状況は。

答 総合センターを発着点としたバラ園までの約7kmのコースと日



ふれあい活動センターの中のトレーニングジム

- 本薬科大学までの約4kmのコースを各1回開催した。令和6年度は29名が参加した。
- 健康長寿教室**
- 問** 実施状況は。
- 答** 出前講座として開催依頼を受けて実施している。簡単に実践できる体操やストレッチ方法等の健康体操を実施した。令和6年度は34名が参加している。
- マルチコンポネント運動**
- 問** この運動が効果的だそうだが、説明を。
- 答** 有酸素運動・筋力トレーニングに、バランス運動も加えた運動である。メッツという単位を用いて活動量を示し、身体活動の強度を表し、安静座位時を1メッツとし、その何倍のエネルギーを消費するかという指標だ。



不在者投票と 身体の不自由な方への投票支援



あおき ひさお
青木久男 議員

問 1票の重みを大切にする施策の一つに病院等での不在者投票があるが、実態はどうか。

答 10月の衆議院選挙では病院等で10人、町外在住が8人、それに郵便投票が3人であった。

問 身体が不自由な方への投票所での支援策はどうか。

答 投票支援カード、耳マーク、コミュニケーションボードなどを用意しており、代理投票や点字投票による対応も行っている。

問 10月の衆議院選挙で代理投票した人は何人か。

答 自身で字が書けない人は投票事務従事者に代筆してもらえる制度で27人いた。

問 目の不自由な選挙人のために投票用紙の記入部分がわかるような投票補助具は用意しているか。

答 用意していないが、目の不自由な方の投票用紙への投票支援として有効なので、今後、導入していく。

問 点字の投票用紙への対処はどうか。

答 開票立会人に何が書かれているのか説明をし、意見を聞きながら確定する。

問 立会人に確認のことだが秘密保持上問題ないか。

答 守秘義務がある。



総務省ホームページより

福祉の現場の声を



たかはし まゆみ
高橋まゆみ 議員

町内の高齢者福祉施設と障害者福祉施設

問 過去5年間の増加数は。

答 町内の介護サービス事業所は57か所から72か所へ、15か所の増加。障害福祉サービス事業所は27か所から45

か所へ、18か所の増加となっている。

問 各事業所の存在やサービス内容の周知は。

答 いきいき長寿課や地域包括支援センター等で在宅医療・介護連携マップを配布。社会福祉課では障害サービ

問 福祉大会で周知してはどうか。

答 検討する。

問 利用者・家族・従事者から相談を受けた際の対応は。

答 安心して施設等を利用し、或いは業務に従事することができるよう、関係機関と連携し柔軟な対応や支援を図っていく。

「まちづくり基本条例（素案）」の町民の定義は住民の意思が尊重されない社会となる危険

問 住民投票の影響は。

答 他団体では条例の位置づけを最高位、最大限に尊重とするものもあるが、現素案は「尊重する」ととどめて

いることからリスクについては懸念に及ばない。



介護現場では本人家族の心の支えともなる訪問介護事業（ねたきり高齢者に語りかけながら足の爪のケアをする訪問看護師）

子宮頸がん撲滅に向けた仕組みづくり



とばりみつえ
戸張 光枝 議員

問 キャッチアップ接種対象者の方々が年度内に1回目の接種を済ませれば、公費助成が1年延長されるとの報道だ。併せて令和7年度の高校一年生に対し個別通知による勧奨が必要であるが見解を。

答 国の動向を注視し、十分な周知ができるよう対応する。

問 ICTを活用した見守り機器導入補助事業で高齢者のおひとり様支援強化を
答 ICT機器導入は見守り強化となると認



おひとり様でも安心して暮らせる町づくりを

識いただいたが調査研究期間はどのくらいか。
答 なるべく早期に整理できるように努める。

町公式LINEの機能をバージョンアップし優しいサービス提供を
問 毛呂山町では公式LINEアカウントを活用し行政手続きのオンライン化を強化している。町の現行機能にプラスできるものは。

答 今年度中を目的に外部サイトへのリンク設定ができるリッチメニューを追加する。
空き家対策と空き家の鳥獣被害対策推進を
問 昨年12月施行の「空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」に関し空き家所有者等へ概要等の発信は。

答 今後、町ホームページ等に掲載する。

農業の振興と雑草対策を



かわうちまさと
川内 雅人 議員

農業の振興と継続について

問 米価は高止まりだが、農家の収益に繋がっているか。

答 農協の買い取り価格は前年比約1.5倍だが、高温やカメムシの影響で収量が減少し、

収益は昨年並みだ。
問 農業後継者不足などを解消するため、農業公社の設立はどうか。

答 さまざまな要素があるため、確認・検討していく。
問 農業用ロボットの導入は。



雑草が繁茂した空き地

答 耕作規模の問題で導入に至っていないが、今後調査・研究する。
空地などの雑草対策
問 雑草対策の要望があった場合の対応は。

答 通報を受けた後、職員が現地確認し、写真添付の通知を送付。改善ない場合は、勧告書、命令書を通知する。
問 所有者の同意がなくても伐採できる条例を改正してはどうか。

答 費用回収が困難なので、条例化は難しい。
部活動の地域移行について
問 地域移行の進捗は。

答 バトミントンと尺八で実証事業を開始した。
問 指導者の報酬は。
答 1時間2000円。指導者の費用弁償は。
答 1日、1000円。

町の再エネ政策の見直しを



とみい あつや
富井篤弥 議員



原市沼川調節池事業



くりばら けいこ
栗原恵子 議員



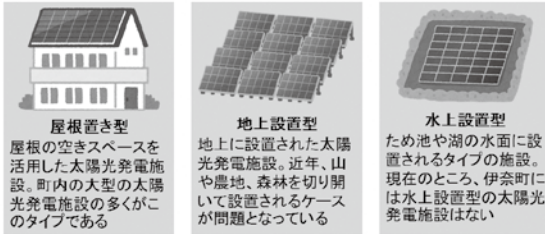
町の豊かな自然と住環境を守るために太陽光発電施設に規制を

問 町の事業用太陽光発電施設の様子は。

答 50キロワット以上の施設は町内7ヶ所で、令和3年12月時点と比較して2ヶ所増えている。

50kw以上の太陽光発電施設の数	町内7ヶ所 ※令和3年12月時点より2ヶ所増
うち 農地を転用して設置したもの	1か所
うち 屋根部分に設置したもの	6か所
50kw以上の太陽光発電施設の総発電出力	1356.88kw (約1.35メガワット)
50kw未満の太陽光発電施設の数	町内45か所
うち 農地を転用して設置したもの	8か所
太陽光発電施設設置の町への届出について	農地転用で太陽光発電施設を設置する場合は届出の対象にはなっていない状況

太陽光発電施設の種類



伊奈町の太陽光発電施設の様子は

答 50キロワット未満の施設は町内に45か所ある状況となっている。

問 町内全体における地上設置型の太陽光発電施設の設置面積は。

答 農地転用許可の申請があつた施設以外の設置面積は、町の届出

の対象ではないことから、把握していない。

問 太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの策定の考えは。

答 近隣自治体を参考に、策定について調査・研究する。

問 子どもを守るネットパトロールの充実を

答 インターネット上で、町立中学校全ての学校名及びその略称を基に、各情報サイトやSNSを検索し、目視による調査・観察を行っている。

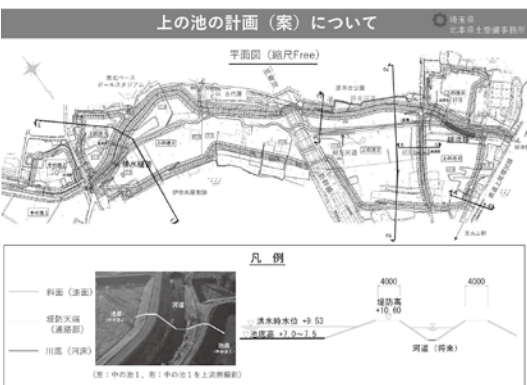
問 町立小学校についても、ネットパトロールの対象にすべきでは

答 各学校からの意見等を考慮し、対象にするべきかどうか検討していく。

三者協議について

問 町はどのような発言をしたのか、今後のスケジュールや方向性はどうか。

答 底面利用方法についてビオトープ、散策路、広場公園及び駐車場の整備要望について



町民の願いを民間事業者が活用しやすいオーダーメイドのおもてなし整備を

発言した。上尾市とは、

問 ビオトープ公園の要望が一致している。町としてどのように底面利用を行っていくのか、またそれに当たり、どのような整備が必要なのかを、今年度中に決定していく。

答 国や県の補助金や交付金も視野に入れ、活用出来るメニューの検討を進めて行く。

伊奈町産後ケア事業

問 現在は、産後の育児等にサポートが必要な方のみを対象としている。産後は、誰もが必要な時に利用できるようなサービスの提供をするべきでは。

答 産後は、ホルモンバランスの変化により自立神経のバランスが乱れ、めまいや、精神的な症状を起しやすい、産後ケアを必要とする全ての方が利用できるような医療機関の拡充に努め、多くの方が利用できるような制度の充実に取り組む。

問 町の単独事業費だけでは限界がある。国の補助メニューを検討してはどうか。

町民の生命を守る取り組みと支援を



うえの なおのり
上野 尚徳 議員

伊奈町・北部の消防救急空白エリアの解消を
問 消防分署の整備の進捗状況は。
答 建設予定地を今年度決定し、次年度、地権者と交渉を始めたい。消防費が約6千万円ほど増加している

問 消防費を削減する工夫をしてもらえるよう要望は行うのか。
答 上尾市の予算要求の確認を行っていく。心臓突然死。1分以内の救命措置で救命率90%。AEDの配備を持ち運びAEDを



サービスの特徴

- スマートフォンから簡単に予約できる
- 24時間365日いつでも利用できる
- 燃料費・保険料込みで1時間単位で利用できる

利用料金 ■ 21馬力トラクター標準ロータリ : 税込4,180円 (1時間当たり) ■ 21馬力トラクター+平高畝マルチロータリ : 税込4,620円

メーカーによる農機シェアは安心感があり、農業事業者にメリットも大きい。農業振興のため活用しては

問 しっかりとした稼げる夢のある農業政策を。
答 やりがいがあり、所得向上となる稼げる農業が夢のある農業につながるかと考える。現在は農地の有効利用に重点を置いている。今後は販路拡大、高付加価値化等で安定経営を確立し、夢のある農業を産み育てていきたい。

町が貸出し、未設置施設での活動時やマラソン等のルートへ配備を。
答 県内複数の自治体で実施。研究していく。闘病生活に町ができる応援を
問 医療用ウィッグ等の必要性への考えは。
答 重要と認識。
問 現段階の方向性は。
答 早期に実施できるように検討を進めている。儲かる農業を育てる

遊休農地での飼料生産、闇バイト型強盗対策



やまの ともしこ
山野 智彦 議員

青刈りとうもろこし
問 畜産飼料の現況は。
答 飼料自給率は27%、輸入飼料の高騰もあり、国産飼料拡大を国も支援している。
問 遊休農地で飼料の青刈りとうもろこしを生産する方法は。

答 専用の農機を持ち、生産を受託するコントラクター業者に委託する方法がある。栃木の業者なら埼玉に向くことは可能とのこと。
問 町内農業関係者に周知、検討頂いては。
答 町ホームページや



輸入飼料の高騰で、国産飼料の需要が大です。飼料用とうもろこし(デントコーン)を、完熟前に収穫する「青刈りとうもろこし」は生産に手間がかからない飼料とされています

会議時に周知していく。
問 駅周辺での宅地開発の開発の可能性は。
答 社会情勢の変化による都市計画制度の改正等、土地利用の可能性の変化があれば、一定条件のもと柔軟に検討していきたい。
問 闇バイト型強盗対策
答 強盗や在宅中に侵入する居空き対策は、狙われやすい家は、目立たない位置、隠れやすい塀等、施錠がない、照明が少ない等がある。対策はそれらの改善と不審を感じた場合の110番通報だ。町ホームページの情報も見やすく改善する。
問 学校での教育は。
答 ネットの危険性、トラブル時助けを求めらること等、具体的な方法を指導している。

常任委員会視察報告

～先進地の事例に学ぶ～

文教民生常任委員会

●視察地 埼玉県狭山市・所沢市

●視察日 令和6年10月15日

指定管理者が運営する児童クラブ 及びトータルサポート支援

児童クラブ運営

指定管理者が運営する所沢市の西富児童クラブを視察し、質疑に以下の回答を頂きました。指定管理者を導入した理由は民間のノウハウを活用したサービスの向上や経費の削減を図ること。導入後の支援員の不足といった課題は生じていない。児童クラブ支援員の雇用や配置は、すべて指定管理者の責任の下で管理しており、市は定期的にモニタリングを行い配置や運営の状況をチェックしている。指定管理者制度に移行して新たに生じた問題は特になく、メリットとしては支援員の配置の安定、保育の質の向上、指示系統の明確化がある。市の関わりは、担当職員が頻繁に現場に立ち寄り、状況などを確認し適宜指定管理者と

意見交換して、施設の環境改善や現場職員の声を共有している。指定管理者側のマネージャーも施設訪問で課題等を吸い上げ、継続的支援を行っている。

トータルサポート支援

狭山市では、生活の困りごとや家族の悩み事を、課を横断して相談出来るワンストップ窓口「トータルサポート室」を設置しており、先進的な事例であることから視察させていただきました。



狭山市トータルサポート室の窓口

総務建設産業常任委員会

●視察地 茨城県稲敷市・千葉県多古町

●視察日 令和6年11月6日・7日

農業振興の先進地を視察

スマート農業で省力化

稲敷市では、農業経営の安定確立を図り、地域農業の発展と農業所得向上を実現する事を目的として「J A稲敷西部地区担い手農業経営研究会」を令和元年に設立しました。ドローンメーカーの協力を得ながら「茨城県スマート農業導入支援事業」を活用し、RTK基地局の設置とスマート農機である「自動操舵装置」の導入を一体的に整備し、農業の省力化・大規模化を推進しています。

就農支援マッチング

多古町では、農家の高齢化や後継者不足等により農業従事者が15年間で約4分の1にまで減少している状況を受け、就農にあたっての資金的な支援に加えて、新規就農希望者と地域農家が出会い、交流するための「多古町就農マッチングフォーラム」を開設しました。また、特産品のハイブランド化と海外販路の開拓にも取り組み、持続可能な農業を推進しています。



自動操舵装置はハンドル操作なしで正確な作業が誰にでも可能に

第12回 議会報告会

開催日

令和6年11月16日(土)

第1部 議会の概要、令和6年度の報告など

第2部 4グループに分かれて広聴会

希望者 議場見学

昨年に続き、12回目となる議会報告会を開催しました。
今回は、前回よりも広聴の時間を25分ほど多くし、参加者の皆さまから町政やまちづくりのご意見を伺いました。それぞれのグループで活発な発言が行われ、充実した広聴会の時間となりました。寄せられたご意見は今後の議会活動に生かしてまいります。

第1部

最初に、五味議会運営委員長から町議会の概要について説明を行いました。



議会についての説明

続いて、上野副議長から令和6年度の主な議会の動きなどの報告を行いました。



議会報告のようす

第2部

4つのグループに分かれて広聴会を行いました。広聴の時間を充

実した今回の議会報告会では、活発な発言のなか、たくさんの方の貴重なご意見やご要望、質問をいただきました。

議会は執行機関ではないことから、議会以外のことを直接お答えすることができないため後日、町にご意見等をまとめ提出しました。

頂戴したご意見は今後の議会活動に生かしていきます。以下一部を抜粋して掲載します。

議会・議員関連

◇議会報告会で町の財政について説明を聞き取れなかった。
↓今後の議会報告会の検討事項にします。

◇議員には役場への監視機能として働いてほしい。
↓今後とも議会と首長の相互の抑制と均衡を図り、議会のチェック機能を果たしてまいります。

◇若い人、女性の方に議員や議会を見たり、聞いたりする機会を増やしてほしい。

↓議会だよりや議会報告会等の工夫で、もっと身近に感じてもらえるような議会づくりに努めてまいります。

選挙関連

◇期日前投票と違い、当日投票の区域が指定されているのはなぜか。どこでも投票できるようにできないのか。

町政全般

◇一般質問を見ている町民の回答に検討が多い。いつまでに町が取り組むのか、その回答をするべきではないか。

◇町役場の風土を変えてほしい。若手を育成してほしい。

◇商工フェスティバルにはたくさんの方の来場者がおり、子どもも多いが、町の文化祭は人が少ない。町は横のつながりも生かして、町を盛り上げてほしい。



議場も使いました



施設や設備

◇学校の体育館にエアコンを設置してほしい。

◇南部大公園周辺の草刈りが十分でない。駐車場も不足している。

◇町役場新庁舎について人の交流の場としてほしい。

◇伊奈町と上尾市の保健所を設置してほしい。



◇伊奈備前太鼓の保管場所がほしい。太鼓や志久の神輿を展示する場所を。

防災対策

◇災害対策として消火器の整備を。

◇町の防災対策について、食料の備蓄状況は必要に応じ増強するべきではないか。

◇道路の冠水対策の強化をしてほしい。

住環境

◇区画整理が終わっていない地域が多く、結果、住宅や農地が無計画に混在している。

◇丸山辺りに商業施設を作り、賑わいを創出してほしい。

◇小・中学校が近くにある地域に住んでいるが、空き家問題が深刻

化している。空き家の処理の状況は。

◇外国人労働者の受け入れに際し、日本の文化や状況を学ぶ機会を提供していくべきでは。

道路・交通関連

◇栄五丁目の境橋の改善をしてほしい。

◇伊奈中央線（都市計画道路）の早期開通を実現してほしい。

◇いな穂街道は大型車やトレーラーの通行が増加し、道路の痛みが激しい状況。また、大型車の路駐が見られる。規制はできないのか。

◇道路補修など個人から町へ日常的な連絡システムを作してほしい。

◇子ども達の通学路になっっている場所の注意喚起対策をすべきでは。

< アンケート集計 > 参加者11人。アンケート回答者10人。

- 性別 ・男性 7人 ・女性 3人
- 年齢 ・50代 4人 ・60代 1人 ・70代 3人 ・80代 2人
- 住所 ・伊奈町 9人 ・上尾市 1人
- 参加回数 ・初めて 7人 ・2回 2人 ・5回 1人
- 議会報告会を知ったきっかけ
 - ・議会だより 6人 ・広報いな 2人 ・行政掲示板 2人
 - ・議員からの案内やチラシ 1人 ・議員の個人ホームページ 1人
- 今回の満足度
 - ・大変満足 5人
 - 理由
 - ・議員と直接話をする機会が得られ、要望を伝え伊奈町の現状を伺うことができた。
 - ・どんな問題も気軽に尋ねられる。議員と率直な交流ができる。
 - ・貴重な機会、ぜひ続けてください。地域の問題点を発表・検討してくれる場は大変良かった。
 - ・満足 3人
- 今回の所要時間はどうか
 - ・ちょうど良かった 6人
 - ・短かった 2人
 - ・無回答 2人

◇児童クラブの民間委託への懸念。町の責任でやるべきではないか。

◇児童クラブは、子どもの保育に関わるので、町や学校との連絡はなるべくほしい。

◇児童クラブの支援員の人材育成を重視してほしい。

教育関連

◇自転車ヘルメット着用促進のための補助金制度の周知方法を改善するべきでは。



福祉関連

◇町内の学校のカーテンが10年以上洗濯されておらず老朽化している。カーテンの更新と衛生管理の改善を。

◇南部地域は高齢化が激しい。高齢者には、3つの不安があり、「健康不安」、「精神不安」、

「経済的不安」がある。そして、こうした高齢者の相談対応は社協や民生委員に委ねられている状況。町は現場をもっと見てほしい。

◇南部地域包括支援センターに、権限を持った職員を配置し、超高齢化の問題に対応できるようにすべきでは。



傍聴案内

議会を傍聴してみませんか



(ネット中継)

議会での質疑、討論などを簡単な手続きで傍聴できます。一般質問(本会議)には毎回熱心な傍聴者が来られます。直近4定例会の傍聴者は延べ106人でした。

インターネットでも中継または録画を視聴できます。

次回定例会予定日は
2月26日です

ようこそ！村山市議会



バラ園の視察の様子

10月23日に山形県の村山市議会有志が、バラ園などのまちづくりについて研修のため来庁しました。議会からは佐藤議長と事務局が参加しました。

園遊会に招待されました



佐藤弘一議長

10月30日に赤坂御苑で開催された秋の園遊会に、佐藤議長が招かれ参加しました。

議会クイズ

クロスワードクイズ
第59弾です。

1	A	2	3	
		4		5
6	7		B	
8			9	C
10				D

応募方法

★はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、
〒362-8517
伊奈町中央四丁目355番地

までお送りいただくか、
二次元コード
（伊奈町電子
申請・届出サ
ービス）↓「議会ク
イズ」からご応募くださ
い。



なお、本誌へのご意見や感想などありましたら、あわせてお寄せください。

- タテのカギ
- 1 ガーデニング
 - 2 濃いめの反対
 - 3 力士が踏むもの
 - 5 動物を英語で
 - 7 戦いの古風な表現
 - 9 81
- ヨコのカギ
- 1 進学の通過点
 - 4 競技などの得点
 - 6 サイコロの目が望みどおりに出たこと
- 8 ぶれないように
- 9 猛獣なのに可愛いキャラクター
- 10 廃棄せずに再利用

問題
A B C Dの順に並べた言葉は何でしょうか。

答えのヒント
下郷にあるふれあい活動センターの愛称

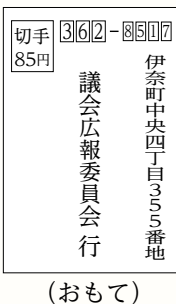
☆締切 2月28日（当日消印まで有効）
正解者の中から抽選で10名の方にエコ手袋を差し上げます。
☆正解と当選者の発表は次号の議会だよりに掲載します。

大滝美穂（内宿台・鳥海百合子）
寿・杉田彰（寿）
原和美（西小針）
関根幹男（西小針）

前回の答えと当選者

答え「シクラメン」
応募総数 51名
正解者 51名
当選者

一順不同・敬称略
木村愛（中央）
大木陽子（西小針）
宮倉律子（西小針）
渡辺和光（羽貫）
齋藤裕美子（本町）



答え例 (A)(B)(C)(D)
郵便番号・住所
氏名・年齢
電話番号
ご意見・感想など（あれば）



読者の声

一部掲載

◇クロスワード大好きです。もう少しやりがいのあるサイズだと嬉しいですよ。（40代）

◇手袋を庭の手入れに使用します。（50代）

◇議会の内容もわかりやすくまとまっていて、いつも興味深く拝見しています。（30代）

◇エコ手袋以外にもローズちゃんグッズがあると嬉しいです。（40代）

◇今回初めてクイズに応募しました。スムーズに応募できるようなってうれしかったです。（60代）

◇いつも楽しみに拝読しています。町の課題を把握することができ、自分も何か協力出来ることはないかを考えます。（60代）

◇アナログ人間の私ですが、初めてスマホか

編集後記

2025年になり早ひと月が経ちました。今年には巳年。脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」の年とも言われるようです。新型コロナウイルスや物価高騰に苦しめられた昨年からは、回復を目指す今年には、ふさわしい干支ではないでしょうか。今議会は、新庁舎建設の本格開始、児童クラブ運営の民間移行、国民健康保険の増税など、町民の皆様がより関心を持たれる議案が審議されました。

ら応募してみました。（60代）

◇今まで真面目にしっかりと目を通していませんでしたが、意外と読みやすかったです。（60代）

◇お父さんと一緒にクイズに挑戦しました。（9歳）

私たち議員として、町民の皆さまが最大限の利益を享受いただけるよう、最大限の努力をさせていただきます。最後に本年が、皆様にとって輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。（川内 雅人）



- ### 議会広報委員会
- 委員長 青木 久男
副委員長 高橋まゆみ
委員 富井 篤弥
委員 仲島 雄大
委員 川内 雅人
委員 木俣美千代
委員 山野 智彦
委員 大野 興一



読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。

★議会だよりは再生紙を使用しています。



植物油インキを使用しています。



伊奈町議会だよりもマチイロで配信